

平成31年度

大学院人間看護学研究科（修士課程）

【助産学部門（助産師育成コース）】

平成31年4月開設

# 学生募集要項

## 日程表

試験区分	募集日程	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜 社会人特別選抜	12月募集	平成30年11月5日（月） ～11月9日（金）	平成30年12月5日（水）	平成30年12月17日（月）
	2月募集	平成31年1月15日（火） ～1月18日（金）	平成31年2月6日（水）	平成31年 2月18日（月）

※社会人特別選抜の出願者に必要な出願資格事前審査の書類の提出期限

12月募集：平成30年10月12日（金）17時必着

2月募集：平成30年12月14日（金）17時必着



公立大学法人

滋賀県立大学

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

出願にあたっての個人情報の取り扱いについては、下記のとおりとします。

本学が保有する個人情報は、「滋賀県個人情報保護条例」ならびに「公立大学法人滋賀県立大学の保有する個人情報の保護等に関する規程」等により関係法令を遵守し、出願時に大学が取得した氏名、住所その他の個人情報は、下記の目的以外には利用いたしません。

- ①入学者選抜（出願処理、受験票発送、試験実施、成績処理等）、合格通知、入学手続案内、入学者選抜方法の調査・研究等の入試事務および付随する業務
- ②合格者のみ入学に伴う教務事務（学籍、修学指導等）、学生支援事務（健康管理、奨学金申請、後援会等）、授業料等の収納事務および付随する業務

また、上記事務処理の一部を外部に委託し、個人情報を受託業者に提供した場合は、関係法令等により、個人情報の漏えい、滅失またはき損の防止、その他個人情報の適切な管理に必要な措置に万全を期します。

[注意]

- ・問い合わせがあっても、本人以外には志願者の氏名・住所その他の個人情報は一切お知らせできません。
- ・駅、バス停、大学周辺で合否連絡・下宿案内等と称して個人情報を収集していることがありますが、本学ではそのような行為は一切行っていませんので注意してください。

# 目 次

人間看護学研究科からのお知らせ	1
<b>I 研究科の概要</b>	
1. 人間看護学研究科がめざすもの	1
2. 助産学部門（助産師育成コース）（2019年4月開設）の特色	1
<b>II 入学者受入方針等</b>	
1. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2. 長期履修制度	1
<b>III 入学者の選抜種別</b>	
<b>[1] 一般選抜</b>	
1. 募集人員	2
2. 出願資格	2
3. 選抜方法および試験日程等	3
4. 出願書類	3
5. 出願手続	5
6. 合格発表	5
7. 注意事項	6
<b>[2] 社会人特別選抜</b>	
1. 募集人員	7
2. 出願資格	7
3. 選抜方法および試験日程等	7
4. 出願書類	8
5. 出願手続	9
6. 合格発表	9
7. 注意事項	9
<b>IV 入学手続、初年度納付金</b>	
1. 入学届の提出	11
2. 入学手続	11
3. 初年度納付金	11
<b>V 修業年限</b>	11
<b>VI 修了の要件</b>	11
<b>VII 授業科目と担当教員</b>	
1. 授業科目	12
2. 担当教員	13

## 人間看護学研究科からのお知らせ

2019年4月から人間看護学研究科の構成が変わります。主な変更点は以下のとおりです。

○高度実践看護学部門（専門看護師育成コース）に、在宅看護分野を増設します（申請中）。

○助産学部門助産師育成コースを新たに開設します。

## I 研究科の概要

### 1. 人間看護学研究科がめざすもの

少子高齢化、医療技術の進歩、価値観の多様化の中にあって、人命・人権の尊厳に立脚し、豊かな人間生活と地域社会を支える看護と看護学の創造に貢献する教育研究を行うとともに、大学の教育理念を基盤に、豊かな感性・人間性と高度な専門職業人としての倫理観を備え、高等化・専門化していく看護学に要求される知識や技術を的確に修得し、発展させながら、実践の科学としての看護学を探究する研究者および高い能力をもつ高度専門職者の養成を目的とします。

### 2. 助産学部門（助産師育成コース）（2019年4月開設）の特色

本コースでは、すでに看護学の課程を修了している人を対象に、周産期における助産のエビデンスを追及し、専門的な判断と技術に基づいた安全な周産期ケアを提供できる専門職者の育成をめざします。また高度な周産期母子医療に対応すべく、ハイリスク妊産褥婦を含めたマタニティケア能力を育成します。2年間のカリキュラムは、ウィメンズヘルスの保持増進に向けて包括的・継続的に支援する能力や、リーダーシップ能力、研究能力を修得できるように系統的に編成されています。

## II 入学者受入方針等

### 1. 入学学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

人間看護学研究科では、次のような人を求めています。

- 1) これまでに培った教養や知識をもとに、人間の生活と地域社会を支える看護学を深く理解し、看護学の創造をめざす人
- 2) 人間と人間の命に対する幅広い興味をもち、豊かな感性と人間性、基本的な倫理観を備えている人
- 3) 高度化・専門化する看護学に要求される知識や技術の修得等、実践の科学として看護を探究しようとする強い意欲を持つ人

### 2. 長期履修制度

助産師育成コースを志願する者は、この制度を利用することができません。

### Ⅲ 入学者の選抜種別

入学者の選考は「一般選抜」と「社会人特別選抜」とに分けて行い、同一の学力試験（看護専門科目、英語）と個別面接の成績を総合して判定します。ただし、社会人の入学選考については調書（志望理由や看護実務経験の内容等）も評価の対象に加え、総合的に判定します。

#### [1] 一般選抜

##### 1. 募集人員

専攻	部門	領域・分野	12月募集	2月募集
人間看護学 専攻	助産学部門 助産師育成コース	助産学領域	4名	※

※ 募集人員には、社会人特別選抜の若干名を含みます。12月に定員を満した場合は、2月の募集は致しません。

##### 2. 出願資格

次の(1)～(8)のいずれかに該当する者で、入学時に看護師免許を有する女子が出願できます。よって、看護師国家試験に不合格となった場合は、大学院の入学を取り消すこととします。

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する大学を卒業した者および2019（平成31）年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2019（平成31）年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年間の課程を修了した者及び2019（平成31）年3月修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2019（平成31）年3月修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者に限る。）を有する者として当該外国の教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2019（平成31）年3月修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、以下の①～②を全て満たした者とする。
  - ① 看護師の資格を有する者
  - ② 看護師又は保健師の資格者として実務経験（2019（平成31）年3月末日までの見込みを含む通算期間とする）が5年以上ある者

(注) 出願資格(4)、(8)で出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行いますので、出願に先立って、次の書類を提出してください。

- 提出書類：①出願資格認定申請書(様式I票)  
②最終出身学校の卒業証明書または在学証明書(入学年月日が記入されているもの)  
③学業成績証明書(最終出身学校のものであって厳封したもの)  
④履修の手引き(授業内容のわかるもの)

- ⑤業績調書（様式K票：出願資格(8)の場合は、最終学歴以降の業績（研究発表等）について記述し、様式K票に抄録・論文等のコピーを添付して提出すること。該当する抄録・論文等がない場合はその旨を記載する）
- ⑥履歴書（A1票の裏面を使用した履歴書のコピーを提出すること）

提出場所：〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
滋賀県立大学 教務課 ☎ 0749-28-8217・8243

提出期限：

12月募集：平成30年10月12日(金)17時必着

審査の結果は、平成30年10月26日(金)までに本人あてに通知しますので、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

2月募集：平成30年12月14日(金)17時必着

審査の結果は、平成31年1月4日(金)までに本人あてに通知しますので、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

### 3. 選抜方法および試験日程等

12月募集 試験日：平成30年12月5日(水)

試験場：本学 人間看護学部棟

2月募集 試験日：平成31年 2月6日(水)

試験場：本学 人間看護学部棟

試験科目	試験時間	試験の内容
英語	10:00～11:30	英文和訳を主とする
専門科目	12:30～14:00	志望する専攻分野の問題
面接	14:15～	志望する専攻分野に関する口頭試問

### 4. 出願および事前審査書類

出願に必要な書類		作成方法
A1票	入学志願票	一般選抜用を使用すること。事前審査を受ける場合は、裏面の履歴書のコピーを添付すること。
B1票	研究計画書	本学所定の用紙を使用すること。
	学業成績証明書	出身大学(出身学校)所定の様式により作成し、厳封したもの [ただし、本学を平成30年度に卒業見込の者は提出不要]
	卒業(修了)証明書または卒業(修了)見込み証明書	出身大学(出身学校)所定のもの
	学位授与証明書または学位授与申請に係る証明書	出願資格(2)の資格で出願する者は、上記卒業証明書に代えて提出すること。
C票	住所票※	可否の通知書等送付先の住所を記入すること。
D票	受験票	縦4cm×横3cmの写真(上半身、無帽、正面向き、背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真貼付欄に貼付すること(同じ写真であること)。
E票	写真票	
F票	入学検定料振込確認票	所定欄に収納印を受けた「入学検定料振込金受領証明書」を貼付すること。

G 票	受験票返送用封筒※	受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、82円分の切手を貼付すること。
H 票	出願書類提出用封筒※	「出願区分」欄の「1.一般選抜」に○印を付け、「志望研究部門」欄、「志願者」欄に必要事項を記入すること。
I 票	出願資格認定申請書	出願資格(4)、(8)で出願しようとする者は、本様式に必要事項を記入し、出願に先立って所定の期間内に提出すること。
K 票	業 績 調 書	出願資格(8)の場合は、 <b>最終学歴以降の業績(研究発表等)について記述し、論文・学会発表等の抄録のコピーを添付して提出すること。</b>
<p>入学検定料 30,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学検定料は、本学所定の「入学検定料振込依頼書」により、出願受付期間の1週間前から出願受付最終日までの間に、指定の金融機関に振り込んでください。 なお、ATM（現金自動預け払い機）は利用できません。</li> <li>・振り込み後、「入学検定料振込金受取書」および「入学検定料振込金受領証明書」を受け取り、収納印があることを確認してください。なお、収納印を受けた「入学検定料振込金受領証明書」は、入学検定料振込確認票の所定欄に貼付してください。</li> </ul> <p>※看護師・助産師・保健師の有資格者は、その免許証の写し(A4サイズ)を提出してください。</p>		

(注) A1票～K票および「入学検定料振込依頼書」の各書類は、本冊子に添付されています。

※C票、G票、H票は、本冊子の巻末に綴じ込まれた封筒に入っています。



## 5. 出願手続

- (1) 受付期間 1 2月募集：平成30年11月 5日(月)～11月 9日(金) (必着)  
2月募集：平成31年 1月15日(火)～ 1月18日(金) (必着)

### (2) 出願方法

- ① 出願にあたっては出願書類提出用封筒[H票]を用い、郵送または直接持参してください。  
なお、郵送による場合は必ず書留速達扱いとし、受付期間最終日必着とします。  
また、直接持参による受付時間は午前9時から午前11時30分および午後0時30分から午後5時までとします。
- ② 出願書類提出先 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
滋賀県立大学 教務課 ☎ 0749-28-8217・8243

なお、出願にあたっては、志望する分野・領域の「特別研究を担当する教員」と必ず事前に相談してください(電話またはE-mailでの相談も可能)。事前相談がない場合は受験できない場合があります。

分野・領域および「特別研究を担当する教員」については、下記までお問い合わせください。

滋賀県立大学人間看護学部長控室  
TEL 0749-28-8631 FAX0749-28-9501  
E-mail nur-hikae@office.usp.ac.jp

## 6. 合格発表

- 1 2月募集：平成30年12月17日(月)午前9時  
2月募集：平成31年 2月18日(月)午前9時

事務局前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人に合否の通知書を送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

## 7. 注意事項

### 出願上の注意事項

- (1) 出願期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送に関しては、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- (2) 入学志願票に記載した氏名と学業成績証明書等の氏名が異なる場合は、氏名を変更したことを証明する書類を出願書類とともに提出してください。
- (3) 入学許可後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、教務課まで必ず連絡してください。
- (4) 出願受付後は、出願書類および入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。
- (5) 出願受付後は、志望分野の変更ができませんので注意してください。
- (6) 出願書類のうち、日本語以外で記された(証明された)書類については、日本語に訳したものを別に添付してください。
- (7) 出願手続を完了した者には、受験票を郵送します。試験日の前日になっても受験票が届かない時には、教務課に電話でお問い合わせください。
- (8) 心身に障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等がある入学志願者は、受験上および修学上特別の配慮を必要とすることがあるので、下記の期日までに教務課に連絡し、相談してください。

- 1 2月募集：平成30年10月12日(金) 午後5時  
2月募集：平成30年12月14日(金) 午後5時



(9) 助産師育成コースでは、「大学院設置基準第14条」は適用されません。

参考；大学院設置基準第14条（昭和49年文部省令第28号抜粋）  
第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

#### 試験に関する注意事項

- (1) 入学試験当日は、受験票を必ず試験場に持参してください。持参しなかった場合には、受験を許可しないことがありますので、注意してください。
- (2) 試験開始の20分前までに各自、試験場に入って、着席してください。
- (3) 試験開始**30分以内の遅刻に限り**受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。30分経過後の遅刻者は、受験することができません。
- (4) 試験場では、監督者の指示に従ってください。
- (5) 机の上には、受験票・鉛筆・消しゴム・時計（計時機能だけのもの）以外のものは置かないでください。
- (6) 昼食は各自で持参するようにしてください。
- (7) 宿泊の斡旋はしません。
- (8) 災害など不測の事態により試験の実施が困難な場合は、大学ホームページに掲載します。
- (9) その他不明な点は、下記までお問い合わせください。

#### 《問い合わせ先》

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

滋賀県立大学 教務課

☎ 0749-28-8217・8243

E-mail: nyushi@office.usp.ac.jp

## [2] 社会人特別選抜

### 1. 募集人員

専攻	部門	領域・分野	12月募集	2月募集
人間看護学 専攻	助産学部門 助産師育成コース	助産学領域	若干名※	

※ 一般選抜の募集人員 4名に含まれます。なお、12月に定員を満たした場合は、2月の募集は致しません。

### 2. 出願資格

社会人特別選抜に出願できる者は、次の(1)から(3)のすべての要件を満たしている者です。

- (1) 一般選抜の出願資格(P.2 参照)を有する者
- (2) 医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において、2年以上に相当する看護実務経験(通算可)を有する者
- (3) 所属する施設、機関等の長が、大学院で十分な研究成果をあげ得ると判断し、責任を持って推薦する者

(注) 一般選抜出願資格(4)、(8)に該当する者は、出願資格の事前審査を行いますので、P.2を参照して、必要書類を提出してください。ただし、提出書類⑥については、A2票の裏面のコピーを使用すること。

### 3. 選抜方法および試験日程等

12月募集 試験日：平成30年12月5日(水)

試験場：本学 人間看護学部棟

2月募集 試験日：平成31年 2月6日(水)

試験場：本学 人間看護学部棟

試験科目	試験時間	試験の内容
英語	10:00～11:30	英文和訳を主とする (英和辞書1冊持込可、ただし電子辞書は不可)
専門科目	12:30～14:00	志望する専攻分野の問題
面接	14:15～	志望する専攻分野に関する口頭試問

#### 4. 出願および事前審査書類

出願に必要な書類		作成方法
A2票	入学志願票	社会人特別選抜用を使用すること。事前審査を受ける場合は、裏面の履歴書のコピーを添付すること。
B1票	研究計画書	本学所定の用紙を使用すること。
B2票	推薦書	本学所定の用紙を使用し、所属長が作成し厳封したもの
学業成績証明書*		出身大学(出身学校)所定の様式により作成し、厳封したもの
卒業(修了)証明書*		出身大学(出身学校)所定のもの
学位授与証明書		出願資格(2)の資格で出願する者は、上記卒業証明書に代えて提出すること。
免許証の写し		看護師・助産師・保健師の有資格者は、その免許証の写し(A4サイズ)を提出すること。
C票	住所票*	可否の通知書等送付先の住所を記入すること。
D票	受験票	縦4cm×横3cmの写真(上半身、無帽、正面向き、背景なし、出願前3か月以内に撮影したもの)を写真貼付欄に貼付すること(同じ写真であること)。
E票	写真票	
F票	入学検定料振込確認票	所定欄に収納印を受けた「入学検定料振込金受領証明書」を貼付すること。
G票	受験票返送用封筒*	受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記し、82円分の切手を貼付すること。
H票	出願書類提出用封筒*	「出願区分」欄の「2.社会人特別選抜」に○印を付け、「志望研究部門」欄、「志願者」欄に必要事項を記入すること。
I票	出願資格認定申請書	出願資格(4)、(8)で出願しようとする者は、本様式に必要事項を記入し、出願に先立って所定の期間内に提出すること。
J票	勤務証明書	「勤務証明書」が2枚以上必要な場合は、J票をコピーし使用すること。
K票	業績調書	出願資格(8)の場合は、最終学歴以降の業績(研究発表等)について記述し、論文・学会発表等の抄録のコピーを添付して提出すること。
<p>入学検定料 30,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入学検定料は、本学所定の「入学検定料振込依頼書」により、出願受付期間の1週間前から出願受付最終日までの間に、指定の金融機関に振り込んでください。 なお、ATM(現金自動預け払い機)は利用できません。</li> <li>振り込み後、「入学検定料振込金受取書」および「入学検定料振込金受領証明書」を受け取り、収納印があることを確認してください。なお、収納印を受けた「入学検定料振込金受領証明書」は、入学検定料振込確認票の所定欄に貼付してください。</li> </ul>		

- (注) 1 \*印の書類(学業成績証明書、卒業(修了)証明書)については、出願資格認定申請の時に提出した者は、出願時に再度提出する必要はありません。
- 2 A2票～K票、および「入学検定料振込依頼書」の各書類は、本冊子に添付されています。
- 3 ※印の書類(C票、G票、H票)は、本冊子の巻末に綴じ込まれた封筒に入っています。

## 5. 出願手続

- (1) 受付期間 12月募集：平成30年11月5日(月)～11月9日(金) (必着)  
2月募集：平成31年1月15日(火)～1月18日(金) (必着)

### (2) 出願方法

- ① 出願にあたっては出願書類提出用封筒[H票]を用い、郵送または直接持参してください。  
なお、郵送による場合は必ず書留速達扱いとし、受付期間最終日必着とします。  
また、直接持参による受付時間は午前9時から午前11時30分および午後0時30分から午後5時までとします。
- ② 出願書類提出先 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
滋賀県立大学 教務課 ☎ 0749-28-8217・8243

なお、出願にあたっては、志望する分野・領域の「特別研究を担当する教員」と必ず事前に相談してください(電話またはE-mailでの相談も可能)。事前相談がない場合は受験できない場合があります。

分野・領域および「特別研究を担当する教員」については、下記までお問い合わせください。

滋賀県立大学人間看護学部長控室  
TEL 0749-28-8631 FAX0749-28-9501  
E-mail nur-hikae@office.usp.ac.jp

## 6. 合格発表

- 12月募集：平成30年12月17日(月)午前9時  
2月募集：平成31年2月18日(月)午前9時

事務局前の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人に合否の通知書を送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

## 7. 注意事項

### 出願上の注意事項

- (1) 出願期間を過ぎて到着したものは受け付けませんので、郵送に関しては、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- (2) 入学志願票に記載した氏名と学業成績証明書等の氏名が異なる場合は、氏名を変更したことを証明する書類を出願書類とともに提出してください。
- (3) 入学許可後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、教務課まで必ず連絡してください。
- (4) 出願受付後は、出願書類および入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。
- (5) 出願受付後は、志望分野の変更ができませんので注意してください。
- (6) 出願書類のうち、日本語以外で記された(証明された)書類については、日本語に訳したものを別に添付してください。
- (7) 出願手続を完了した者には、受験票を郵送します。試験日の前日になっても受験票が届かない時には、教務課に電話でお問い合わせください。
- (8) 心身に障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)等がある入学志願者は、受験上および修学上特別の配慮を必要とすることがあるので、下記の期日までに教務課に連絡し、相談してください。

- 12月募集：平成30年10月12日(金) 午後5時  
2月募集：平成30年12月14日(金) 午後5時

(9) 助産師育成コースでは、「大学院設置基準第14条」は適用されません。

参考；大学院設置基準第14条（昭和49年文部省令第28号抜粋）

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

#### 試験に関する注意事項

- (1) 入学試験当日は、受験票を必ず試験場に持参してください。持参しなかった場合には、受験を許可しないことがありますので、注意してください。
- (2) 試験開始の20分前までに各自、試験場に入って、着席してください。
- (3) 試験開始**30分以内の遅刻に限り**受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。30分経過後の遅刻者は、受験することができません。
- (4) 試験場では、監督者の指示に従ってください。
- (5) 机の上には、受験票・鉛筆・消しゴム・時計（計時機能だけのもの）以外のものは置かないでください。
- (6) 昼食は各自で持参するようにしてください。
- (7) 宿泊の斡旋はしません。
- (8) 災害など不測の事態により試験の実施が困難な場合は、大学ホームページに掲載します。
- (9) その他不明な点は、下記までお問い合わせください。

#### 《問い合わせ先》

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

滋賀県立大学 教務課

☎ 0749-28-8217・8243

E-mail:nyushi@office.usp.ac.jp

## Ⅳ 入学手続、初年度納付金

### 1. 入学届の提出（2月募集を除く。）

入学試験の合格通知書（仮合格を含む）を受けた者は、所定の入学届を平成30年12月28日(金)までに提出してください。

期限内に入学届を提出しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。

### 2. 入学手続

#### (1) 入学手続期間

入学手続に必要な書類は、合格通知書に同封して郵送します。ただし、12月募集における入学届提出者にあつては平成31年2月上旬頃に郵送しますので、住所が変更になった場合は必ず教務課まで連絡してください。（なお、入学料は、入学手続と同時に納付することになります。）

12月募集：平成31年 2月12日(火)～ 2月18日(月) (必着)

2月募集：平成31年 3月13日(水)～ 3月18日(月) (必着)

[仮合格者は平成31年3月18日(月)まで(必着)]

(2) 入学手続先 〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
滋賀県立大学 教務課 (☎ 0749-28-8217・8243)

#### (3) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を完了しなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 一度受付をした入学手続書類および入学料は、理由のいかんを問わず返還しません。

### 3. 初年度納付金

(1) 入学料 ① 滋賀県内に住所を有する者 282,000円

② その他の者 423,000円

(注) 滋賀県内に住所を有する者とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

ア 入学の日の1年前(平成30年4月1日)から引き続き滋賀県内に住所を有する者

イ 入学の日の1年前(平成30年4月1日)から引き続き滋賀県内に配偶者または1親等の親族（生計を一にする者に限る）が住所を有する者

(2) 授業料 ① 年額 535,800円

(平成30年度の額であり、改定されることがあります。なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料が適用されます。)

② 納付方法 前期(納付期限4月27日)、後期(同10月27日)の2回の分納です。

(3) その他の必要経費

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料、研究・実習のための経費

## Ⅴ 修業年限

修士課程は、2年以上在学する必要があります。

## Ⅵ 修了の要件

修士課程の修了要件は、60単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を在学期間中に提出し、その審査及び最終試験に合格することです。修了後は、助産師国家試験の受験資格を得ることができます。



# Ⅶ 授業科目と担当教員

## 1. 授業科目

科目区分	授業科目名	単位数		助産師育成コース	基礎看護学部門					生涯健康看護学部門				高度実践看護学部門		修了要件	
		必修	選択		専門基礎	基礎	精神	在宅	公衆衛生	母性	小児	成人	老年	慢性	在宅		
共通科目（十単位以上）	看護理論	2		○													共通科目から必修4単位に加えて、6単位以上を選択すること(特別研究・課題研究を除く)  専門看護師育成コースは、部門必修共通科目6単位、△印の選択科目から4単位以上を含めて14単位以上修得すること
	看護研究方法論	2		○													
	家族看護学特論	2															
	看護政策論	2													△	△	
	看護教育学	2		○											△	△	
	コンサルテーション論	2		○											△	△	
	看護倫理	2													△	△	
	看護管理学	2		○											△	△	
	フィジカルアセスメント	2													○	○	
	病態生理学	2													○	○	
	薬物治療学	2													○	○	
看護英語論文入門Ⅰ	2																
看護英語論文入門Ⅱ	2																
専門科目（十二単位以上） + 八単位もしくは二単位	看護技術学特論	2															○印は各領域・分野の必修科目  看護研究コースは、専門科目から20単位以上(専攻する領域の科目4単位以上を含む)を修得すること  専門看護師育成コースは、専攻する分野の専門科目から16単位以上修得すること
	看護技術学演習	2															
	人的資源活用論特論	2															
	人的資源活用論演習	2															
	形態機能-生体機構学特論	2															
	形態機能-生体機構学演習	2															
	精神看護援助方法論	2															
	精神看護援助方法演習	2															
	在宅看護学特論	2															
	在宅看護学演習	2															
	公衆衛生看護学特論	2															
	公衆衛生看護学演習	2															
	母性看護学特論	2															
	母性看護学演習	2															
	小児家族看護学特論	2															
	小児家族看護学演習	2															
	成人継続支援看護学特論	2															
	成人継続支援看護学演習	2															
	老年看護学特論	2															
	老年看護学演習	2															
	慢性看護学特論A	2															
	慢性看護学特論B	2															
	慢性看護学特論C	2															
慢性看護学特論D	2																
慢性看護学特論E	2																
慢性看護学特論F	2																
慢性看護学特論G	2																
慢性看護学特論H	2																
慢性看護学特論I	2																
慢性看護学特論J	2																
慢性看護学特論K	2																
慢性看護学特論L	2																
慢性看護学特論M	2																
慢性看護学特論N	2																
慢性看護学特論O	2																
慢性看護学特論P	2																
慢性看護学特論Q	2																
慢性看護学特論R	2																
慢性看護学特論S	2																
慢性看護学特論T	2																
慢性看護学特論U	2																
慢性看護学特論V	2																
慢性看護学特論W	2																
慢性看護学特論X	2																
慢性看護学特論Y	2																
慢性看護学特論Z	2																
基礎看護学特別研究	8															● 専門看護師育成コースは課題研究もしくは特別研究のいずれか一つを選択すること	
生涯健康看護学特別研究	8															●	
高度実践看護学課題研究	2															●	
助産学特別研究	8			●												●	
専門看護師育成コース	慢性看護学実習Ⅰ	1														専門看護師育成コースのみ修了要件科目となる	
	慢性看護学実習Ⅱ	4															
	慢性看護学実習Ⅲ	5															
	在宅看護学実習Ⅰ	3															
	在宅看護学実習Ⅱ	3															
在宅看護学実習Ⅲ	4																
助産師育成コース専門選択科目	ウイメンズヘルス助産学特論※	2		○												※印 この科目は、助産師育成コースの学生のみ選択可であり、助産師育成コースの必修科目となる	
	ウイメンズヘルス助産学演習※	1		○													
	周産期包括支援特論※	2		○													
	周産期包括支援演習※	1		○													
	助産倫理特論※	2		○													
	国際助産学特論※	2		○													
	健康教育演習※	1		○													
	助産学実習Ⅳ※	2		○													
助産学実習Ⅴ※	1		○														
助産師育成コース科目	助産学概論	1		○												助産師育成コースのみの修了要件科目となる	
	助産学特論Ⅰ	2		○													
	助産学特論Ⅱ	2		○													
	助産学特論Ⅲ	1		○													
	助産診断技術学特論Ⅰ	2		○													
	助産診断技術学特論Ⅱ	2		○													
	助産診断技術学特論Ⅲ	2		○													
	実践助産学演習Ⅰ	1		○													
	実践助産学演習Ⅱ	1		○													
	助産マネジメント特論	2		○													
	地域母子保健特論Ⅰ	1		○													
	助産学実習Ⅰ	2		○													
	助産学実習Ⅱ	8		○													
	助産学実習Ⅲ	1		○													

※網掛けした科目が助産師育成コースの受講科目（選択科目含）です。  
※科目名等の詳細については、変更する可能性があります。



## 2. 担当教員（平成30年8月現在）

科目区分	授業科目名	担当教員	
共通科目	看護理論	窪田好恵准教授	
	看護研究方法論	甘佐京子教授 古株ひろみ教授 浅野弘明非常勤講師	
	家族看護学特論	古株ひろみ教授 甘佐京子教授	
	看護政策論	小林孝子准教授	
	看護教育学	伊丹君和教授 米田照美准教授	
	コンサルテーション論	甘佐京子教授 吉田智美非常勤講師	
	看護倫理	糸島陽子教授	
	看護管理学	窪田好恵准教授 米田照美准教授	
	薬物治療学	土田勝晴非常勤講師 竹内孝治非常勤講師	
	フィジカルアセスメント	越山雅文教授 横井和美教授 米田照美准教授 非常勤講師(未定)	
	病態生理学	安原治教授	
	看護英語論文入門Ⅰ	安原治教授	
	看護英語論文入門Ⅱ	安原治教授	
	専門科目	基盤看護学分野	看護技術学特論
看護技術学演習			伊丹君和教授
人的資源活用論特論			窪田好恵准教授
人的資源活用論演習			窪田好恵准教授
形態機能・生体機構学特論			安原治教授
形態機能・生体機構学演習			安原治教授
精神看護援助方法論			甘佐京子教授 牧野耕次准教授
精神看護関連技法演習			甘佐京子教授 牧野耕次准教授
在宅看護学特論			河野益美教授
在宅看護学演習			河野益美教授
生涯健康看護学分野		公衆衛生看護学特論	小林孝子准教授
		公衆衛生看護学演習	小林孝子准教授
		基盤看護学特別研究	専攻教員
		母性看護学特論	越山雅文教授 岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		母性看護学演習	越山雅文教授 岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		小児家族看護学特論	古株ひろみ教授
		小児家族看護学演習	古株ひろみ教授
		成人継続支援看護学特論	糸島陽子教授 横井和美教授 荒川千登世准教授
		成人継続支援看護学演習	糸島陽子教授 横井和美教授 荒川千登世准教授
		老年看護学特論	平田弘美教授
		老年看護学演習	平田弘美教授
		生涯健康看護学特別研究	専攻教員
専門科目	高度実践看護学部門	慢性看護学特論A	横井和美教授 糸島陽子教授
		慢性看護学特論B	横井和美教授 河野益美教授 角野文彦非常勤講師
		慢性看護学支援論A	横井和美教授 糸島陽子教授
		慢性看護学支援論B	横井和美教授 糸島陽子教授
		慢性看護学支援論C	横井和美教授 伊波早苗非常勤講師 非常勤講師(未定)
		慢性看護学支援論演習Ⅰ	横井和美教授 喜多下真里助教 非常勤講師(未定)
		慢性看護学支援論演習Ⅱ	横井和美教授 喜多下真里助教
		慢性看護学実習Ⅰ	横井和美教授 喜多下真里助教
		慢性看護学実習Ⅱ	横井和美教授 喜多下真里助教
		慢性看護学実習Ⅲ	横井和美教授 喜多下真里助教
	在宅看護学部門	在宅看護学特論A	河野益美教授
		在宅看護学特論B	河野益美教授 非常勤講師(未定)
		在宅看護学支援論A	河野益美教授
		在宅看護学支援論B	河野益美教授 森本安紀准教授 非常勤講師(未定)
		在宅看護学支援論C	河野益美教授 非常勤講師(未定)
		在宅看護学支援論演習Ⅰ	河野益美教授 森本安紀准教授
		在宅看護学支援論演習Ⅱ	河野益美教授 糸島陽子教授 森本安紀准教授
		在宅看護学実習Ⅰ	河野益美教授 森本安紀准教授
		在宅看護学実習Ⅱ	河野益美教授 森本安紀准教授
		在宅看護学実習Ⅲ	河野益美教授 森本安紀准教授
高度実践看護学課題研究	専攻教員		
専門科目	助産学部門	助産学概論	岩谷久美子教授
		助産学特論Ⅰ	岩谷久美子教授
		助産学特論Ⅱ	越山雅文教授
		助産学特論Ⅲ	岩谷久美子教授
		助産診断技術学特論Ⅰ	古川洋子准教授
		助産診断技術学特論Ⅱ	古川洋子准教授
		助産診断技術学特論Ⅲ	板谷裕美准教授
		実践助産学演習Ⅰ	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		実践助産学演習Ⅱ	越山雅文教授
		助産マネジメント特論	岩谷久美子教授
		地域母子保健特論	古川洋子准教授
		助産学実習Ⅰ	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授 渡邊友美子助教
		助産学実習Ⅱ	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授 渡邊友美子助教
		助産学実習Ⅲ	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授 渡邊友美子助教
		ウィメンズヘルス助産学特論	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		ウィメンズヘルス助産学演習	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		周産期包括支援特論	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		周産期包括支援演習	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授
		助産倫理特論	岩谷久美子教授 板谷裕美准教授
		国際助産学特論	岩谷久美子教授 板谷裕美准教授
		健康教育演習	岩谷久美子教授 齊藤智孝非常勤講師
		助産学実習Ⅳ	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授 渡邊友美子助教
助産学実習Ⅴ	岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授 渡邊友美子助教		
助産学特別研究	越山雅文教授 岩谷久美子教授 古川洋子准教授 板谷裕美准教授		

※網掛けした科目が助産師育成コースの受講科目（選択科目含）です。

※科目名等の詳細については、変更する可能性があります。



# 滋賀県立大学

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500  
TEL 0749-28-8217・8243 FAX 0749-28-8472  
ホームページアドレス <http://www.usp.ac.jp/>  
E-mail: nyushi@office.usp.ac.jp

